

日本気象学会 沖縄支部だより

発行：(公社) 日本気象学会沖縄支部
〒900-8517 那覇市樋川 1-15-15
那覇第一地方合同庁舎
沖縄気象台防災調査課内

2022年度日本気象学会沖縄支部研究発表会

令和5年3月2日(木)、2022年度日本気象学会沖縄支部研究発表会を開催しましたので概要を報告します。なお、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から集合開催は行わず、沖縄気象台や琉球大学キャンパスなど、開催場所が異なるオンライン形式による開催となりました。

1 支部長あいさつ(概要)

本日はお忙しいところ多くの皆様に沖縄支部の研究発表会にご参加いただきありがとうございます。本日は14題の発表が予定されており、その内半分の7題が台風に関する研究発表で、さすが台風の本場の支部発表会だなと感じると共に海洋や観測機器に関する発表も予定され、とても楽しみな内容となっています。これまでの研究発表のお披露目の場であると同時に研究の更なる発展に向けて議論をたたかわせる貴重な機会ともなりますので、是非とも活発な質疑応答をお願いします。

さて、沖縄支部の構成員の多く、今日発表いただく方皆様は、気象台と琉球大学所属となっております。沖縄気象台と琉球大学は2021年に包括的連携協定を結んでおり、これは共同研究や共同調査の実施、新たな分野での官学連携の推進等を想定した枠組みとなっております。学会支部の皆様におかれましては、その枠組みを活用しやすい立場におられると思いますので、ご自身の研究への活用もぜひ検討いただければ幸いと存じます。今年もオンラインでの発表会となりました。オンラインの利点も結構ありますけれども、対面会場での白熱した議論というのも捨てがたいものと個人的には思います。来年はそのような場が戻って来ますことを祈念しまして、私からの挨拶とさせていただきます。

2 発表

研究発表会(座長：金城康広理事)では、14題(琉球大学12題、沖縄気象台2題)の発表がありました。昨年の12題より2題増え、様々な視点から活発な質疑があり、貴重な意見交換の場となりました。

琉球大学理学部からは、台風に関する構造の研究や先行型台風、藤原効果など多くの研究成果、沖縄気象台からも統計的調査による台風の最低気圧と最大風速の関係及び長期変化が発表されました。発表に対し多くの質問がありましたが、琉球大学の各理事による丁寧な説明があり各参加者も理解が進みました。その他に琉球大学理学部からは二本の降水帯を持つ寒冷前線の観測や宮古島における日射量の環境場の関連について報告があり、座長の金城予報課長より、現場でのこれまでの経験を踏まえたコメントがあり、発表者も納得した様子でした。

琉球大学工学部からは、昨年続く研究としてカメラによるレンズ光学特性の研究やUHFアンテナの積分器作製の観測研究など、雷現象を捉える観測システム側からのアプローチが紹介され、今後の発展についての質問もありました。

その他、沖縄気象台から大雨警報事例の特徴や琉球大学からマラッカ海峡の海面水温変動についての研究報告がありました。

発表題目 (所属：発表者)

- ① 台風の中心付近でドロップゾンデにより観測された風と相当温位の水平分布
(琉球大学理学部：常名はるか)
- ② 梅雨期における前線の鉛直構造と降水量の関係 (琉大理工学研究科：橋本 二千華)
- ③ 沖縄本島を通過する二本の降水帯をもつ寒冷前線の観測 (琉大理工学研究科：山野 裕斗)
- ④ 2022 年台風第 4 号(AERE)の事例解析 (琉大理工学研究科：渡部 太間)
- ⑤ 夏季の宮古島における日射量と環境場の関係 (琉球大学理学部：有馬 光将)
- ⑥ 民間航空機データを用いた台風構造解析 (琉球大学理学部：伊藤 耕介)
- ⑦ いわゆる先行台風型の台風発生について (琉大理工学研究科：山内 健司)
- ⑧ 海面摩擦の増加が励起する台風強度及び構造の変化 (琉球大学理学部：正野 涼司)
- ⑨ 接近・離反型の藤原効果 (琉球大学理学部：西平 楓)
- ⑩ Sea Surface Temperature Variability in the Malacca Strait; Its Unstable States within Tidal Bore-impacted Estuaries (琉球大学理工学研究科：Ulung Jantama Wisha)
- ⑪ フラット光源開発およびカメラの光学特性調査 (琉球大学工学部：鈴木 優斗)
- ⑫ 積分器の作製と雷雲観測用アンテナシステムへの実装 (琉球大学理学部：伊藤 耕介)
- ⑬ 沖縄本島地方の梅雨期における中・上層北西流場での大雨警報事例の特徴
(沖縄気象台：鈴木 史記)
- ⑭ 観測された台風の最低気圧と最大風速の関係及び長期変化 (宮古島地方気象台：林 和彦)

※予稿集は沖縄支部ホームページの「お知らせ」に掲載しています。<http://www.msjok.com/wiki/>

3 閉会の挨拶 (概要) 伊藤耕介 理事

今日発表にあられた皆様、それから本日 Zoom の環境を準備していただいた沖縄気象台の皆様、本当にご苦労様でした。

普段、私の周りで聞いている研究だけではなく、琉球大学の工学部の皆様の発表ですとか、あるいは沖縄気象台の皆様の発表を聞きまして、多く学ぶところがあったと考えております。

冒頭でもありましたように、ようやくコロナあけて色々できるような雰囲気になってきたかなという風に感じていますので、是非とも次回は皆さままで会って和気あいあいと、休憩時間もフルにいろんなことが議論できるように、そういう風に使えれば素晴らしいなと思っております。

本日はご苦労様でした。これで終わりにしたいと思います。



(オンライン参加25名、事務局会場6名)

(事務局より)

オンライン発表会において、会場設営等に不手際があり大変ご迷惑をおかけしました。運営においては、参加された皆様並びに関係官のサポートで進めることができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

報告：離島お天気教室

令和3年10月13日に多良間島の多良間小学校で離島お天気教室を開催しました。また、令和5年1月27日に北大東島の北大東小中学校で離島お天気教室を開催しました。

○多良間島小学校（共催：宮古島地方気象台）

参加者：児童34名、教職員6名

実験で「ペットボトルで雲発生実験」・「大気圧実験」・「竜巻実験」を実施し、琉球大学の気象学会員による「台風の話」の講話を行った。また、同村防災気象講演会に山田理事による講話「台風の航空機観測」も実施された。



○北大東島小中学校（共催：南大東島地方気象台）

参加者：児童39名、教職員約10名

実験で「ペットボトルで雲を作ろう」・「熱気球」・「竜巻実験」を実施し、琉球大学の気象学会員による「台風について」の講話を行った。



講演に協力いただいた琉球大学の気象学会員の皆様、この場をお借りしてお礼申し上げます。

事務局からのお知らせ

■「沖縄支部だより」の原稿募集

事務局では「沖縄支部だより」に掲載する会員からの原稿を募集しています。

沖縄支部会員の活動報告、気象知識の普及活動の状況、沖縄の気象に関する事例解析・統計調査など情報交換に役立つ原稿であればどのようなものでも結構ですので、支部事務局までご投稿ください。会員各位の積極的な投稿をお待ちします。

■住所変更届のお願い

転居や転勤により登録情報に変更が生じた際は、次の方法で手続きを行ってください。

○ご本人による手続き（オンライン申請）

気象学会本部ページの「入会案内」ページ

（以下 URL）にて登録情報の変更を行います。

<https://www.metsoc.jp/membership-2>

【方法】気象学会本部ページの「入会案内」ページにおいて、「[会員登録情報の変更](#)」画面に入り、必要事項を記入の上、送信することで手続きは完了します。ご不明な点がございましたら事務局までお尋ねください。

■メールアドレス登録のお願い

支部だより発行、総会などの開催通知等は支部全会員に E-mail で配信しています。まだ登録されていない会員の方は、会員氏名・番号、E-mail アドレスをご登録いただくようお願いします。

登録は、住所変更届と同様に、「[会員登録情報の変更](#)」からのオンライン申請でお願いします。

■日本気象学会への入会案内

みなさまの周りに気象学を専攻している・気象関連の仕事をしている・気象に興味を持っているような方がいらっしゃいましたら、日本気象学会への入会をお勧めいただくようお願いします。支部事務局までご連絡いただければ、入会方法などご案内します。